



# 日本物理学会 男女共同参画推進委員会 活動報告

## Recent activities of Gender Equality Promotion Committee, The Physical Society of Japan

門信一郎<sup>1,2</sup>、肥山詠美子<sup>1,3</sup>、所 裕子<sup>1,4</sup>、小林夏野<sup>1,5</sup>、濱口幸一<sup>1,6</sup>

日本物理学会<sup>1</sup>、京都大学エネルギー理工学研究所<sup>2</sup>、東北大学大学院理学研究科<sup>3</sup>  
筑波大学大学院数理物質科学研究群<sup>4</sup>、岡山大学異分野基礎科学研究所<sup>4</sup>、  
東京大学大学院理学系研究科物理学専攻<sup>5</sup>

### ◆日本物理学会の男女共同参画推進委員会◆

日本物理学会は1877年に創立された会員数が約15000人の学会である。本学会の女性比率は増加し続けているものの、現在も6~7%程度であり、これは世界的に見ても小さな数字である。2002年に発足した男女共同参画推進委員会では、今後さらに多くの女性研究者が男性研究者と共に活躍し、物理学がますます発展するよう様々な活動を行なっている。以下に、この1年間の主な活動内容を報告する。

### ◆基本方針◆

①女性研究者の研究・教育環境を改善する事、②次世代の女性研究者を育成する事を指針に、国内外の機関と連携して活動を行う。

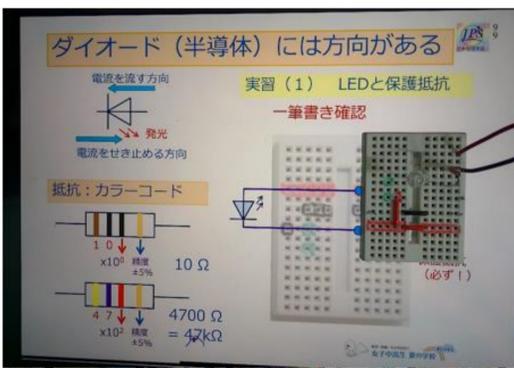
### ◆活動報告◆

#### 【1】米沢富美子記念賞 第3回受賞者決定

物理学会では女性会員の活躍を讃え、奨励するために2019年度に米沢富美子記念賞を設立し、毎年受賞者を選考し、物理学会年次大会において表彰している。2022年度にはその第3回募集を行い、2名の女性会員に賞を授与した。

#### 【2】次世代教育支援

2005年度より本学会員を「女子中高生夏の学校」に実行委員会およびプログラム担当委員として派遣している。2022年度は新型コロナウイルス感染予防のためオンライン形式で、8月7、8日の2日間開催された。本委員会の担当委員が協力し、実験やポスターの企画に参加した。また、2006年度より継続的に「女子中高生のための関西科学塾」の支援をしている。2010年度から協賛金の形で支援をしてきたが、2021年度からは賛助会員として支援を行うこととした。



(左上)キャリア相談カフェの様子。(右上・左下・右下)Zoomを用いた実験の様子。疑問やトラブルなどはLINEを使ってコミュニケーションをとった。

#### 【3】学協会連絡会活動

学協会連絡会運営委員会、大規模アンケート解析WG、シンポジウムに参加している。

#### 【4】国際交流

2022年8月21-26日に開催された The 15<sup>th</sup> Asia Pacific Physics Conference (APPC15, オンライン開催) に参加し、本委員会の活動内容について発表した。

#### 【5】秋季・年次大会での託児室の開設

物理学会では、毎年春と秋に全国規模の学術講演会を開催しており、どちらの大会も合計約5,000名の研究者が参加している。大会には本委員会が主体となって運営している託児室が設置され、事前に申し込んで希望すれば誰でも利用できる。託児室の終了後は、利用者に運営向上のためのアンケートを実施し、その内容を委員内で共有することで、より一層の利便性の向上を目指している。

#### 【6】年次大会でのシンポジウム開催

日本物理学会にて、本委員会主催のインフォーマルミーティング(ランチョンミーティング)を開催してきた。2021年年次大会(オンライン開催)では「リーダーシップを持つ若手女性研究者の育成について」というテーマで科学・技術分野の次世代育成と環境づくりについて、男女共同参画推進委員より報告があり、若手奨励賞での男女比現状の共有、米沢富美子賞のねらいや意義についての説明、参加者からの質問を踏まえたディスカッションが行われた。2022年度大会(オンライン大会)では開催を見送った。2023年春季大会(2023年3月、オンライン)にて開催を予定している。

#### 【7】広報活動

物理学会誌とHP(<http://danjo.jps.or.jp/>)に委員会報告やイベントごとに活動報告を掲載している